

1. 生涯学習フェスティバル予告
2. 語学系自主グループの紹介
3. 生涯学習 この人に聞く
競技かるたの普及 前田秀彦さん
4. ふちゅう東西南北
明治大学グラウンド（若松町）
《写真：ハイビスカス/白糸台》

企画・編集：
府中市生涯学習ボランティア
「悠学の会」



第25回府中市生涯学習フェスティバル開催

日時：9月8日（土）・9日（日）10：00～ 於：生涯学習センター

「府中市生涯学習フェスティバル」は、市民の生涯学習の成果を発表する場、学びのきっかけづくりの場です。市民発表会、作品展のほか、例年好評の子供サイエンス、鉄道模型体験、小動物ふれあい体験、チャリティバザーなどの準備もすすんでいます。特別講演会の講師も講師・神田紫さんに決めました。楽しい企画が満載！ご家族皆さんでぜひご来場ください。（生涯学習フェスティバル実行委員会）



毎日新聞社提供

◆府中市生涯学習フェスティバル特別講演会◆ 講師 神田紫さん

なぜ私は毎年富士山に登り、頂上で講演を語るのか

〜昨年一〇回目の登頂を達成〜

今年の特別講演会は神田紫さんに決定しました。神田さんにその思いを伺いました。

富士山登山について、『富士山に一度も登らぬバカ、二度登るバカ』という言葉があるそうです。二〇〇八年から一〇回も登っている私は、さしずめ大バカ者、といったところでしょ

う。富士山は老若男女が登れる山です。夏、家族連れで小学校低学年のお子さんも登っている姿をよく目に致します。二〇一三年七月に世界文化遺産に登録され、夏の登山シーズンには毎年約三〇万人が登ると言われています。若い女性の登山者の服装を見ると、カラフルでファッショナブルな装いで「山ガール」と呼ばれ、心から登山を楽しんでいるようです。

荒れて災いが起こるから女性は登ってはいけないと言われていたのです。しかし、禁じられれば禁じられるほどその掟を破ってまでも登ってみたいと思うのが人情でしょう。



神田紫登山隊／頂上にて（富士山クラブ提供）

「女性が登ると神様がお怒りになる、ということなど真つ赤なウソである、女性にも過酷な富士登山ができる」と、江戸時代に女性の地位向上のために、女性とは

「女性が登ると神様がお怒りになる、ということなど真つ赤なウソである、女性にも過酷な富士登山ができる」と、江戸時代に女性の地位向上のために、女性とは

「禁制」で、二合目以上に登ることができませんでした。女性が登ると神様が嫉妬して、山が

わからないうように、男性の格好をして富士山の頂上まで登った方がいらつしやい

★講師プロフィール★
講師 日本講談協会 元会長。一般社団法人日本講談普及協会理事。特定非営利活動法人富士山クラブ 副理事長。東京アナウンス学院講師。文学座付属演劇研究所卒業。昭和五四年二代目神田山陽に入門。平成元年 真打昇進。
「人、物、自然を大切に、感謝する心」を伝える環境講談『もったいない善兵衛』を創作し話題に。昨年の夏で富士山登頂一〇回目を達成し、同時に頂上講演会も開く。

ました。このことは公にできないことでしたので、当時は一緒に登った人々と彼女の肉親しか知らず、後年になってから当時の状況を記した物が発見されたために、日本人の女性で初めて富士山の山頂まで登った方がわかりました。その後、外国人の女性も登頂に成功したこと、明治政府がやむなく、日本人の女性も富士山の二合目以上に登ってもよろしい、という許可を出し、今日に至っております。

日本一高い山、富士山に私がどうして登るようになったのか？ 富士山の頂上で見ることのできる景色とは一体どんなものなのか？ 頂上で講演を語るのにはなぜなのか？ を当日、お話しさせて頂きます。ご来場をお待ちしております。

神田紫さんの特別講演会：
九月九日（日）十一時より
生涯学習センター 二階講堂

生涯学習センターを中心に活動する

自主グループの紹介



今回は、語学学習を楽しむふたつの自主グループをご紹介します。

中文学習の会

この会の成り立ちは、平成 10 年府中市生涯学習センターの講座「中国語会話入門」の第一回と第二回の講座修了者を母体として受講者の有志で発会したものです。

当初 NHK の中国語講座の講師・王聡さんを招いて講師をお願いしたものの、何せ講師料が高かったので会の運営に苦心しましたが、その後農工大の中国人留学生とコンタクトが出来たので講師をお願いし、彼らがそれぞれ学位を習得して帰国するまで、延べ 10 人以上の留学生にお願いするようになりました。これだけでも日中友好の一端を担ったのではと思っています。

例会日は毎月、月曜日、金曜日の午後 7 時から 9 時までとして、都合により月 6 回を目標に開催しています。懇親会もたびたびひらき、その際には知り合った中国の方を招いています。2015 年 3 月には、“三峡クルーズと世界自然遺産 張家界(武陵源)8 日間”、18 年 6 月には、“雲南(昆明・大理・麗江)6 日間”の旅行を実施しました。

発会后 20 年経過した現在、メンバーの高齢化と減少により会の運営に苦慮する場面に直面し、その対策に悩んでいます。14 億に達する中国人が話す中国語、これからも大事に続けていきたいと考えています。

月 1 回は無料の会も設けたいので、ご興味のある方は気軽に参加してみてください。



活動場所: 生涯学習センター 3-3 教室

活動日: 月 6 回

月曜日・金曜日(午後 7 時～9 時)

【連絡先】 増村 090-8177-7915

英会話サークル OAK

OAK は生涯学習センターの英会話講座をきっかけに発足した英会話サークルで、当時の「かしい先生」のお名前からサークル名を頂きました。15 年の間に多少のメンバーの入れ替えを経て、現在は 12 人で活動しています。

先生はイギリス生まれのアメリカ育ち。全くのネイティブで美しい英語を話されます。時々、これまた英語教師の日本人の旦那さんがピンチヒッターに立たれ、文法問題の解決などの力になっています。



メンバーは 100 カ国以上を旅したつわもの、現役のツアーガイド、パソコンボランティア等々多彩で、スピーキングの学習などではいろいろな話題が飛び交い、楽しく、豊かな場になっています。

興味のある方は是非ご参加ください。

活動場所: 生涯学習センター、他

活動日: 毎週火曜日 10:15～12:00

指導者: スーザン塩原先生

【連絡先】 牧野 080-6586-7932

読者投稿

おだまきも えびねも咲きたる お庭にも
今年もにら花 王者のさまに

秋吉 智香子

新緑の公園掃けば 鳩の鳴く

壬生 みつ子

塩焼きで 食すのどぐろ 夏はじめ

西岡 晴子

投稿歓迎！ 短歌、俳句、川柳、写真、絵手紙など、お寄せください。

競技かるたの奥深い楽しさを伝えたい

府中白妙会 前田秀彦さん



小倉百人一首の「競技かるた」は、知的スポーツ、畳上の格闘技と言われます。長年 分梅町一丁目公会堂を中心に競技かるたの普及に取り組み、若手を育ててこられた前田さんに聞きました。



練習場を見せていただきましたが、昼間は子供さんが多いですね。

そうですね。やはり漫画「ちはやふる」の影響だと思いますが、入会希望が多くて嬉しい悲鳴です。府中白妙会を立ち上げた時を思うと夢のようです。今では増えた会員の練習場を確保するのも大変なほどです。他のかるた団体では入会制限をしている所もあるようですが、私は折角かるたを志してくれた人は大切にしたいという思いが強いので、できるだけ皆さんに入っていたらと頑張っています。

「ちはやふる」は府中白妙会の会員が、漫画家・末次由紀さんに競技かるたを題材にすることを提案。前田さんとの対談から構想ができ、会の全面的な協力で大ヒット作品に。主人公の所属する府中白波会は、府中白妙会がモデル。

府中白妙会を始められたのはどういう経緯だったのでしょうか？

私は福井県出身で、小学校6年生の時に競技かるたを始め、18歳の時に上京して競技かるたの名門東京白妙会で研鑽を積みました。35歳で府中に越し耳鼻科を開院したのを機に、府中白妙会の元となる府中かるた会を立ち上げました。昭和63年のことです。

早速片町文化センターに団体登録して活動を始めましたが、会員はなかなか増えませんでした。

それで平成2年から初心者教室と初心者大会を開催し競技かるた

の普及に努めました。以来今日まで約30年にわたり競技かるたの楽しさ面白さを伝えていく活動を続けています。今では約100名の会員がいて、週4回の練習日は大盛況です。ありがたいことですね。



札の並べ方を熱心に指導する前田さん

競技かるたの魅力は？

競技かるたは2人で対戦します。百人一首の下の句が書かれた100枚の取り札の中からランダムに50枚を抽出し、お互いに25枚ずつを自陣に並べ、上の句が読まれた瞬間に札を取り合う競技です。自分の札を取れば自陣の札が1枚減り、相手の札を取った時には自分の札を1枚相手に渡します。先に自陣の札を無くせば勝ちとなります。

勝つには当然早く取ることが大切なのですが、早さを磨くだけではダメ、100回競走じゃないんだから。そこには自分の札を自陣にどのように並べるか、相手陣をどのように攻めるかという戦略・戦術なども絡んでくる。どう攻め、どう守るのかを深く考えるのが大切です。競技かるたは、その「考える」「攻める」が面白い、本当に奥深い競技なんです。

初心者、中級者、上級者それぞれに楽しいし、強くなればもっと楽しい。早く名人戦の予選に出場できるA級選手になって、かるたの奥深さを楽しもうと言っているのです。

かるたを学ぶ人に伝えたいことは？

会員たちには、競技かるたを通して小倉百人一首という千年以上続く日本文化に触れる喜びを感じて欲しいです。また、競技かるたは、どちらの選手が早く取ったかの微妙な判定は、競技者同士で話し合っただけで決めることになっています。競技かるたから人間関係も学んで欲しいですね。

それに、競技かるたは、戦術や戦略を駆使して一瞬を争うスポーツです。年齢に応じた戦い方・楽しみ方がありますから、生涯学習としてチャレンジすることもでき、脳トレにも大変役立つと思います。私も、53歳の時25年ぶりに3度目の準名人になりました。



競技かるたは老若男女が一緒に楽しむ

これからの目標は？

老化はすべての人に必ず訪れます。競技かるたの勝敗を左右する聴力、反射神経、暗記力も年々衰えてきますが、少しでも老化を補うべく鍛錬し、老若男女が楽しめるこのかるたを、若い人たちといつまでも競技していきたいと思っています。

そして、若手・後輩を育てながら府中白妙会を盛り立て、千年もの昔から続き日本の伝統文化ともいえる小倉百人一首に込められた日本人の心を、「競技かるた」の普及・発展に力を尽くすことで広く伝えていきたいと思っています。



府中白妙会のレベルは高く、取材日(木曜夕方)の練習に集まった子供達の中にも優勝者がいっぱい！ 入会動機を聞くと、「ちはやふる」にあこがれて、お母さんやお姉さんの姿を見てなど。長年の指導が実った様子がうかがえた。(記：西谷信昭)

明治大学野球部グラウンド

～ 内海・島岡ボールパークを訪ねて ～

東京六大学リーグの名門・明治大学野球部のグラウンドが、浅間山の麓（若松町）にあります。5月連休明けの夕方、編集員4名は新緑に包まれたボールパークを訪ねました。

南門から入りましたが、門扉は開いていて開放的な雰囲気でした。敷地は25,000坪（東京ドームの1.8倍）と大変広く、2つの球場の他、室内練習場、合宿所（島岡寮）などがあり、大学野球部の施設としては、規模といい設備といい第一級だそうです。名前は、野球部の創設者・内海弘蔵氏と、「人間力野球」をかかげ37年間指揮をとった島岡吉郎氏にちなみます。両氏の胸像が、第一球場のレフト側外野芝生にあり、その視線はいつも練習中の学生に注がれています。

ボールパークで出会う学生は、やや場違いな闖入者の私たちに、みんな元気な挨拶の声をかけてくれました。緑に囲まれた合宿所を訪ねると、玄関の両脇には島岡監督の大きな写真、野球殿堂入りした先輩23名の銘板、39回のリーグ優勝銘板などが飾られています。応接室には沢山のトロフィーや優勝盾が置かれ、ここでマネージャーの太田空君、上原美紀さんから、野球部の現況・歴史・伝統や、部員の生活のあれこれをお聞きしました。

現在、マネージャーも含めて部員は133名で、女子マネージャーは8名です。全寮制で、定員120名の合宿所には男子部員が住み、女子は自宅から通います。毎日の練習は、授業に合わせて、朝練組と午前練組に分かれ、午後は大学での授業。帰ると個別の練習や体のケア、そして夕食が7時から。朝練組は4時半起床、5時半から練習、午前練組は8時から午前中練習。明治大学には、駿河台（御茶ノ水）、和泉（明大前）、生田、中野と4つのキャンパスがあり、多くの部員は最寄りの多摩霊園駅を利用します。駅までは自転車。練習休みは週1日で火曜日。また長期休暇中は、終日、練習と公式戦やオープン戦などで大忙しとなります。



編集後記 若葉が輝きを見せる浅間山の麓で、今日も朝早くから明大府中グラウンドでの元気良くボールを打つ音と学生たちの歓声が聞こえてきます。先日取材に伺ったのですが、彼らの爽やかな笑顔、礼儀正しさをたくましい五体に感動し、日本の将来への安泰を強く感じました。これからもさらなる応援を続けていきたいと思えます。（柴田洋子）



明治大学野球部グラウンド（明治大学提供）

第二球場では、付属の中学・高校生が練習し、大学生がコーチとして手伝います。いつも早朝から夕暮れまで、学生の元気な声が浅間山にこだましています。

明大は昨年の秋季リーグで2位、今年は優勝を狙える好位置にいます。選手は、スポーツ推薦と一般入試およそ半々。府中グラウンドができて11年目、このグラウンドからの卒業生は、8年連続でプロ野球ドラフトにかかり、5年連続1位指名がありました。昭和40年代、島岡監督や星野仙一さんの現役のころは、明治が一番熱かったでしょうか。

グラウンドでは、春と秋のリーグ戦の始まる前に、他大学あるいは社会人チームとオープン戦を行い、市民も観戦できます。また高校野球の東京都予選も開催されます。

毎年11～12月には、部員と市民の「府中交流会」が行われ、近隣のマンションの方など、約100名が参加します。オフシーズンには、郷土の森野球場などで、府中の小・中学生に「野球教室」を開くことも恒例です。地域での活動といえば、月初めに、部員全員で新小金井街道や多摩霊園駅までの沿道のごみ拾いなどを行っています。オフの日には東府中の蕎麦屋さんや中華のお店で、大変お世話になっています。

野球部のポリシーは、一言でいえば、島岡監督の「人間力野球」です。野球をする以前の学生生活をきちんとする、掃除・片付けなどは、上級生、試合に出る選手が率先してやるといったことでしょうか。

この内海・島岡ボールパークは、若者のひたむきな練習風景や活気ある試合を見せていただく、市民にとっても大変貴重な場所となっています。明治大学野球部をますます応援したくなりました。浅間山の散策も兼ねて、ぜひ足を運んでみて下さい。ただし練習のお邪魔にならないように。（記：奥野英城）

企画・編集：府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」
共同発行：府中市文化スポーツ部文化生涯学習課
ふちゅう生涯学習センター共同事業体

府中市生涯学習センター

〒183-0001 府中市浅間町1-7 Tel 042-336-5700

ホームページ：<http://fuchu.shogaigakushu.jp/>